

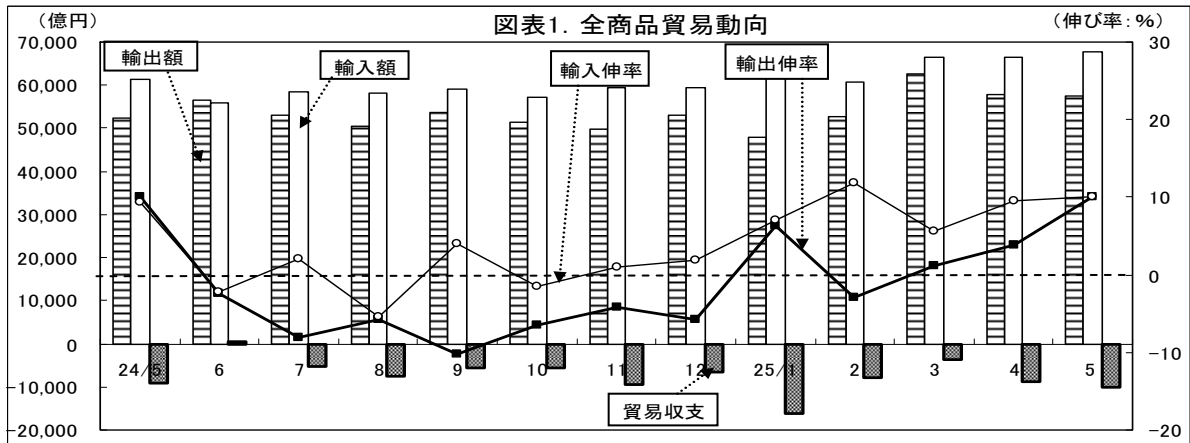
# 最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出、4ヶ月ぶりにプラスへ～

日本機械輸出組合 2013. 7. 12.

平成 25 年 5 月の機械輸出額は 3 兆 5,866 億円、対前年同月比 6.4%増とプラスに転じた。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②EU 以外の地域がプラスになったこと、③機械輸出額の約 34%を占める自動車の伸びが 6.2%増となったことに加え、産業機械、電子デバイス、重電気機械などが大幅に増加したことなどによる。しかし実質的な伸び率は、為替・営業日が 13.5%の増加要因となり、7.1%減と依然マイナスであった。6 月はさらに円安が進んだが、営業日が 1 日少なく、10.0%の増加要因となり、機械輸出額が仮に 5 月の実質的伸び(7.1%減)が続くとすれば、前年比 2.9%増と予想される。5 日発表の貿易統計速報によれば、6 月上中旬の全商品の輸出の伸びは 13.4%増であった。

## 1. 全商品貿易動向～輸出は二桁プラス成長なるも、貿易赤字は 5 月では最大～

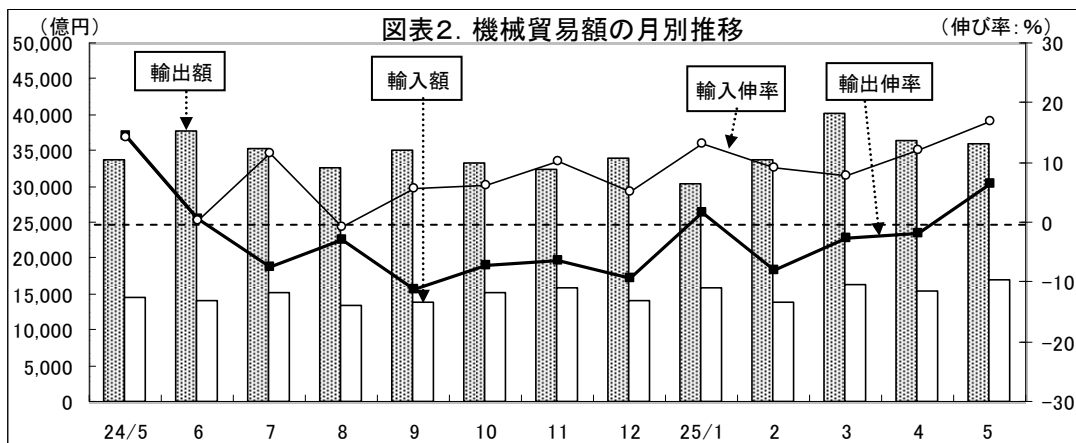
- 平成 25 年 5 月の全商品輸出額は **5 兆 7,667 億円**、前年同月比(以下同じ) **10.1%増**とプラス幅が大きく拡大した(4 月 3.8%増)。これは円安が円建輸出額を膨らませたこと、全輸出額の約 11%を占める化学製品(16.8%増)、半導体等電気機器(9.6%増)等が増加したことによる。
- 輸入額は **6 兆 7,631 億円**、**10.1%増**と二桁となった(4 月 9.5%増)。これは、輸入の 72%を占めるドル建の円安効果、全輸入額の約 13%を占める電子部品・通信機等電気機器(23.7%増)、約 9%の食料品(12.3%増)、約 8%の鉄鉱石・非鉄金属鉱等原料品(20.1%増)、一般機械(10.8%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、9,964 億円と昨年 7 月以降 11 カ月連続で貿易赤字となり、5 月としては 1979 年以降最大の赤字となった。



## 2. 機械貿易動向

### (1) 機械輸出入動向～機械輸出プラスへ、輸入は9ヶ月連続増加、2ヶ月連続でリーマン前を超える～

- 全商品輸出額の約 62%を占める 5 月の機械輸出額は **3 兆 5,866 億円**、**6.4%増**と 4 ヶ月ぶりにプラスに転じた(4 月 1.9%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成 20 年 5 月)と比べると **79.6%**となり、前月より 2.3 ポイント回復した(4 月 77.3%)。
- 一方、全商品輸入額の約 25%を占める機械輸入額は、**1 兆 7,072 億円**、**16.9%増**と 9 ヶ月連続の増加となった(4 月 12.1%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の **111.5%**と 2 カ月連続してリーマンショック以前の水準を超えた(4 月 101.5%)。

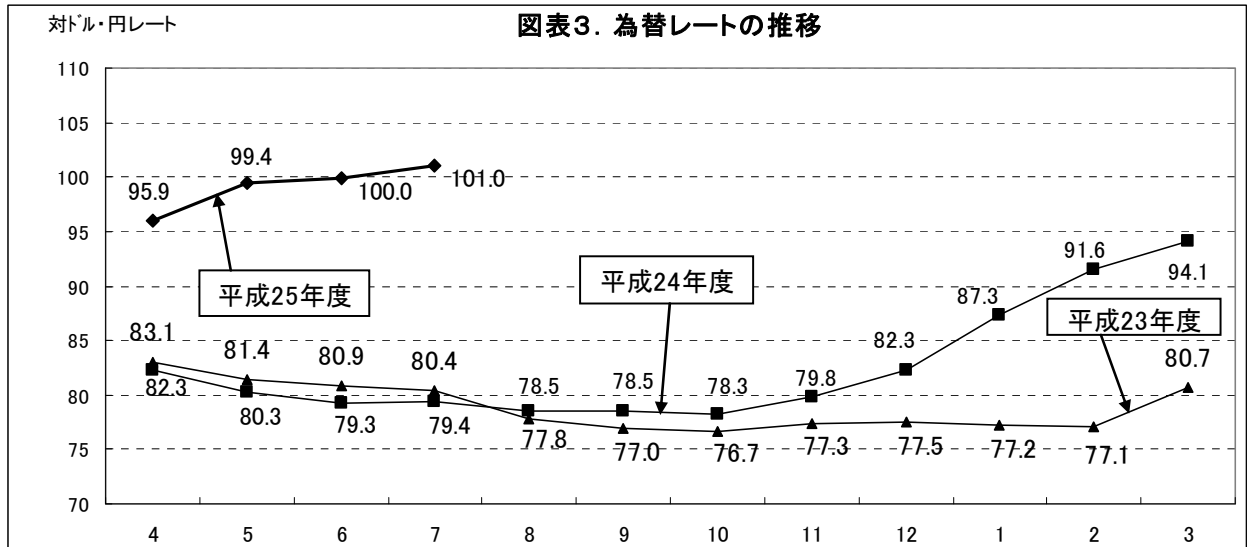


**(2) 為替動向・営業日～5月は為替・営業日で13.5%の増加要因、6月は10.0%の増加要因～**

1) 5月は1ドル=99.4円と円安が進み、前年に比べ23.8%の円安となった。また、対ユーロも129.6円と前年に対して23.3%と円安が進展し、合わせて約13.5%の為替増加要因となった。営業日は実働日と同じであるため、増加要因は13.5%となる。5月の輸出額は6.4%増であったことから、実質的伸び率は7.1%減とマイナス幅は縮小した(4月16.2%減)。

2) 6月は1ドル=100.0円とさらに円安が進み、前年に比べ26.1%の円安となった。また、対ユーロでは126.0円で前年に対し26.0%の円安となり、合わせて約14.8%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日少なく、4.8%の減少要因となり、合計10.0%の増加要因となる。

3) 7月は、対ドルでさらに円安に動き、現状の101円とすれば、前年に比べて27.2%の円安、また、対ユーロも129円と30.4%の円安となり、合わせると約15.6%の為替増加要因となる。営業日は1日多いので4.8%の増加要因となり、合計20.4%の大幅な増加要因となる。



**(3) 地域別動向～EUを除く全ての地域がプラス～**

1) 機械輸出額が増加した地域的要因は、①機械輸出額の24.5%を占める北米向けで、全体の約49%を占める自動車(14.5%増)をはじめ、産業機械(29.2%増)、軽電気機械(27.3%増)、重電気機械(27.2%増)が増加し、15.1%増となったこと、②28.5%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けは、香港(28.2%増)、韓国(17.5%増)、台湾(15.9%増)、ベトナム(47.4%増)が大幅増となり、業種では、電子デバイス(20.3%増)、軽機械(16.3%増)、光学機械(13.0%増)、重電気機械(11.1%増)等が大幅増となって8.2%増となったこと、③20.3%を占めるその他地域向けは、パナマ、メキシコ、ブラジル等中南米(28.0%増)、中近東(9.6%増)が大幅なプラスとなり、機種では、全体の約56%を占める自動車(6.9%増)をはじめ、軽機械(26.6%増)、産業機械(16.9%増)、船舶(5.7%増)がプラスとなって4.4%の増加となったこと、④16.6%を占める中国向けは光学機械(36.9%増)、電子デバイス(9.9%増)、重電気機械(9.4%増)、軽電気機械(9.3%増)等が伸びて2.1%増と12ヶ月ぶりでプラスになったことによる。

2) 他方①機械輸出額の10.2%を占めるEU向けは、建設機械(34.3%減)、民生用電子機械(20.8%減)、工作機械(12.5%減)が大幅にマイナスとなり、4.9%減と13ヶ月連続でマイナスが続いている。

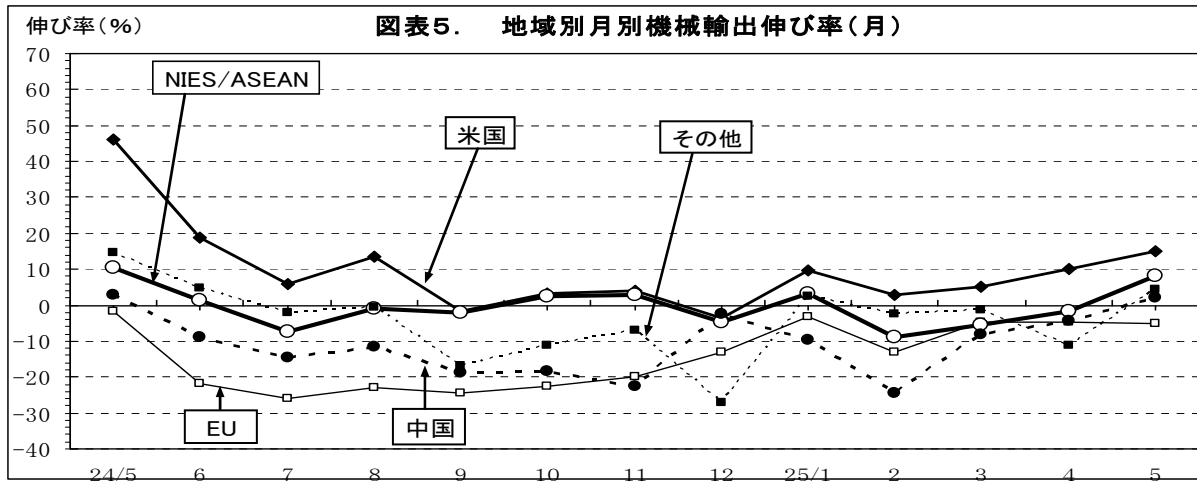
3) また、リーマンショック前の平成20年5月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が94%、北米が93%、NIES/ASEANが87%、その他地域が71%、EUは50%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/3			2013/4			2013/5			対08年 5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	40,272	▲ 2.6	100	36,318	▲ 1.9	100	35,866	6.4	100	0.80
北米	9,295	5.1	23.1	9,148	10.2	25.2	8,772	15.1	24.5	0.93
EU	4,082	▲ 4.6	10.1	3,941	▲ 4.5	10.9	3,655	▲ 4.9	10.2	0.50
NIES/ASEAN	11,079	▲ 5.4	27.5	10,308	▲ 1.7	28.4	10,224	8.2	28.5	0.87
中国	6,516	▲ 8.3	16.2	5,689	▲ 4.5	15.7	5,938	2.1	16.6	0.94
その他	9,299	▲ 1.2	23.1	7,232	▲ 11.3	19.9	7,276	4.4	20.3	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2013/2		2013/3		2013/4		2013/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,668	▲ 8.4	2,058	▲ 1.5	1,894	7.2	1,798	17.5
台湾	1,432	▲ 7.8	1,762	6.5	1,559	▲ 1.2	1,769	15.9
香港	1,097	▲ 18.3	1,443	▲ 8.5	1,461	▲ 3.7	1,649	28.2
タイ	1,796	▲ 5.0	2,031	▲ 10.5	1,853	▲ 6.3	1,741	▲ 0.1
シンガポール	648	▲ 14.6	946	▲ 6.2	944	6.7	807	▲ 5.0
インドネシア	872	1.8	1,023	▲ 11.0	918	▲ 9.6	826	▲ 12.3
マレーシア	690	▲ 8.0	765	▲ 5.5	677	▲ 3.9	629	▲ 9.3
フィリピン	475	▲ 13.8	522	▲ 12.9	534	▲ 7.1	500	▲ 3.5
ベトナム	304	▲ 6.6	409	▲ 3.2	362	2.2	401	47.4
その他地域								
中南米	2,057	▲ 13.0	3,014	9.6	2,018	▲ 27.1	2,690	28.0
中近東	1,550	▲ 6.0	1,748	▲ 3.8	1,547	6.5	1,440	9.6
大洋州	1,195	▲ 0.6	1,388	▲ 13.6	1,188	▲ 15.9	1,029	▲ 3.7
ロシア東欧等	1,361	5.3	1,460	7.5	1,376	6.6	1,119	0.2
アフリカ	950	50.1	927	▲ 18.0	590	▲ 12.3	555	▲ 38.6
インド	387	▲ 20.8	485	▲ 11.5	417	0.5	325	▲ 12.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中4業種がマイナス、自動車は2ヶ月連続、産業機械は23ヶ月ぶりプラス～

- 業種別では、全19業種中4業種がマイナスで、前月に比べ6業種減少した(4月10業種)。全体の約34%を占める自動車(6.2%増)が2ヶ月連続、産業機械(10.2%増)が23ヶ月ぶりにプラスとなったほか、電子デバイス、重電気機械、軽機械、光学機械、医療機械、繊維機械が二桁増となった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械、船舶、光学機械、ベアリングの4業種で、他方、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、産業車両、建設機械は、40%から50%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2013/3			2013/4			2013/5			対08/5比
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	
自動車	13,024	▲ 1.2	自動車	13,269	7.4	自動車	12,125	6.2	0.80
産業機械	7,031	▲ 2.8	産業機械	6,095	▲ 6.6	産業機械	6,361	10.2	0.88
電子デバイス	3,021	▲ 0.5	電子デバイス	2,894	10.0	電子デバイス	2,985	16.4	0.73
船舶	2,260	2.2	軽電気機械	1,913	6.2	重電気機械	1,867	10.2	0.91
重電気機械	2,102	▲ 1.9	重電気機械	1,850	6.1	軽電気機械	1,814	8.4	0.78
軽電気機械	2,077	4.1	民生用電子機械	1,505	▲ 14.8	船舶	1,656	4.7	1.15
民生用電子機械	1,591	▲ 19.8	軽機械	1,381	3.6	民生用電子機械	1,509	▲ 5.2	0.48
軽機械	1,464	▲ 3.6	光学機械	1,203	▲ 5.1	軽機械	1,375	11.1	0.83
光学機械	1,415	12.8	船舶	1,145	▲ 47.5	光学機械	1,343	17.8	1.06
建設機械	1,355	▲ 17.8	建設機械	916	▲ 27.1	建設機械	876	▲ 19.7	0.57
工作機械	885	▲ 23.9	工作機械	610	▲ 28.6	工作機械	629	▲ 21.1	0.76
電子計算機	530	4.9	通信機械	429	▲ 10.0	通信機械	409	5.5	0.45
通信機械	485	▲ 10.2	電子計算機	396	▲ 0.1	電子計算機	371	2.9	0.41
医療機械	448	5.8	陸用内燃機関	367	3.2	ベアリング	359	3.4	1.06
陸用内燃機関	429	▲ 4.2	ベアリング	364	▲ 3.7	陸用内燃機関	324	1.5	0.87
ベアリング	377	▲ 4.4	医療機械	309	9.2	医療機械	312	12.1	0.9
繊維機械	231	11.4	繊維機械	205	46.4	繊維機械	199	22.9	0.80
農業機械	175	▲ 1.6	農業機械	150	▲ 0.5	農業機械	128	6.8	0.64
産業車両	129	▲ 8.6	産業車両	125	6.6	産業車両	110	▲ 1.1	0.52
19業種合計	39,029	96.9	19業種合計	35,126	96.7	19業種合計	34,750	96.9	0.79

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カマ。

(5) 機種別動向～運搬機械等が大幅増加、電子応用装置、発電機、録画・再生機器等は大幅減～

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域、NIES/ASEAN、北米向け**運搬機械**(49.4%増)、②北米、NIES/ASEAN、中国向け**金属加工機械**(27.6%増)、③中国、その他地域向け**繊維機械**(22.9%増)、④NIES/ASEAN、北米向け**電池**(20.7%増)、⑤NIES/ASEAN、中国、北米向け**風水力機械**(19.7%増)、⑥北米向け**TV**(18.3%増)、⑦中国、NIES/ASEAN、北米向け**光学機械**(17.8%増)、⑧NIES/ASEAN、中国向け**電子デバイス**(16.4%増)、⑨北米、NIES/ASEAN、その他地域向け**医療機械**(12.1%増)、⑩NIES/ASEAN、北米、中国向け**分析・試験・検査機**(11.5%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、電子応用装置(54.6%減)、発電機(53.6%減)、録画・再生機器(50.2%減)、工作機械(21.1%減)、デジカメ・ビデオ(21.1%減)、建設機械(19.7%減)、エアコン(14.7%減)、原動力機械(12.2%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/3			2013/4			2013/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電池	193	22.0	繊維機械	205	46.4	運搬機械	298	49.4
光学機械	1,415	12.8	原動力機械	501	45.2	金属加工機械	320	27.6
運搬機械	273	11.5	運搬機械	261	29.0	繊維機械	199	22.9
繊維機械	231	11.4	電池	199	14.8	電池	184	20.7
電気・電子計測器	498	10.4	電子デバイス	2,894	10.0	風水力機械	670	19.7
機種合計	2,417	6.0%	TV	92	10.0	TV	77	18.3
			機種合計	4,152	11.4%	光学機械	1,343	17.8
						電子デバイス	2,985	16.4
						医療機械	312	12.1
						分析・試験・検査機	771	11.5
						機種合計	7,159	20.0%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/3			2013/4			2013/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	117	▲ 51.8	録画・再生機器	9	▲ 48.1	電子応用装置	23	▲ 54.6
デジカメ・ビデオ	509	▲ 35.9	船舶	1,145	▲ 47.5	発電機	82	▲ 53.6
録画・再生機器	11	▲ 32.9	デジカメ・ビデオ	440	▲ 34.5	録画・再生機器	8	▲ 50.2
エアコン	9	▲ 26.2	工作機械	610	▲ 28.6	工作機械	629	▲ 21.1
半導体製造装置	999	▲ 24.2	建設機械	916	▲ 27.1	デジカメ・ビデオ	459	▲ 21.1
工作機械	885	▲ 23.9	半導体製造装置	860	▲ 25.3	建設機械	876	▲ 19.7
時計	89	▲ 21.2	エアコン	8	▲ 24.5	エアコン	8	▲ 14.7
建設機械	1,355	▲ 17.8	磁気カード・ディスク等	149	▲ 12.9	原動力機械	370	▲ 12.2
電子応用装置	63	▲ 17.5	産業用ロボット	98	▲ 10.4	機種合計	2,455	6.8%
磁気カード・ディスク等	158	▲ 16.9	通信機械	429	▲ 10.0			
機種合計	4,195	10.4%	機種合計	4,664	12.8%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、携帯電話、自動車部品が大幅増、光学機械が大幅減～

- 1) 5月の機械輸入伸び率は16.9%増と9ヶ月連続で増加となった。その要因は、最大輸入機種の電子デバイス(36.1%増)に加え、携帯電話(174.6%増)、自動車部品(27.0%増)、白物家電(13.5%増)、航空機類(28.7%増)、分析・試験・検査機(20.0%増)、風水力機械(12.7%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、減少したのは光学機械(16.3%減)、民生用電子部品(3.6%減)等であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、中国(16.1%増)(全体の42%)、ASEAN(14.9%増)、北米(14.6%増)、韓国・台湾(30.3%増)、EU(11.2%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2013/3				2013/4				2013/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,009	5.9	12.4	電子計算機	1,769	1.3	11.5	電子デバイス	2,011	36.1	11.8
電子デバイス	1,805	26.9	11.1	電子デバイス	1,739	30.3	11.3	電子計算機	1,740	2.5	10.2
携帯電話	1,067	40.3	6.6	携帯電話	907	20.2	5.9	携帯電話	1,356	174.6	7.9
乗用車	898	22.2	5.5	自動車部品	759	23.3	4.9	自動車部品	897	27.0	5.3
分析・試験・検査機	862	7.1	5.3	白物家電	717	14.4	4.7	白物家電	877	13.5	5.1
自動車部品	708	3.2	4.4	乗用車	715	24.3	4.6	乗用車	774	0.5	4.5
白物家電	617	10.3	3.8	医療機械	502	18.4	3.3	航空機類	533	28.7	3.1
医療機械	599	12.3	3.7	民生用電子部品	316	14.4	2.1	医療機械	498	7.2	2.9
航空機類	478	▲ 22.2	2.9	航空機類	298	▲ 57.0	1.9	民生用電子部品	343	▲ 3.6	2.0
光学機械	335	0.0	2.1	光学機械	294	0.0	1.9	分析・試験・検査機	318	20.0	1.9
民生用電子部品	302	▲ 3.5	1.9	風水力機械	259	17.8	1.7	風水力機械	290	12.7	1.7
TV	270	▲ 5.1	1.7	分析・試験・検査機	258	16.1	1.7	光学機械	290	▲ 16.3	1.7
12機種合計	9,950		61.3	12機種合計	8,533		55.4	12機種合計	9,927		58.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械